

お茶の水女子大学附属図書館内ラーニング・コモンズにおける 情報機器と学生支援

池田佳奈子*1・桑名杏奈*2
Email: ikeda.kanako@ocha.ac.jp

*1: お茶の水女子大学情報基盤センター

*2: お茶の水女子大学教育開発センター

◎Key Words ラーニング・コモンズ, ラーニング・アドバイザー, 情報機器

1. はじめに

ラーニング・コモンズとは英米の大学図書館で使われ始めたことばで、日本語では「共有の場」といった意味合いであり、これまで重厚で堅い大学図書館のイメージから、新しい図書館の姿を表現するものとして使われるようになってきている。(1)

本学のラーニング・コモンズは、全学的な教育改革の動きに連動し、2007年4月に図書館内に新しく学生のための学習空間として設置された。本学にとってラーニング・コモンズは「21世紀型文理融合リベラルアーツ教育」を象徴する場であり、学内の各部署が連携して運用すべき協働の場でもある。(2)

本稿ではラーニング・コモンズの設備として非常に重要であるコンピュータ・プリンタ・ネットワークなどの情報機器と、支援体制について、機器の設置・管理に携わる情報基盤センターの立場から紹介する。

2. 本学のラーニング・コモンズの情報機器

2012年6月現在、ラーニング・コモンズ内で学生が利用できる情報機器は次の通りである。

- ・教育用端末
 - Mac OS X v10.6 (44台)
 - Windows7 (30台)
- ・印刷とコピーが可能な複合機 (2台)
- ・スキャナ (1台)
- ・電源・情報コンセント付の席 (8席)
- ・無線LAN (図書館内ではどこでも無線LANを使用可能)
- ・OS・ソフトウェアなどのマニュアル本、論文の書き方などに関する本



図1 教育用端末 (Mac)



図2 教育用端末 (Windows)



図3 短時間の作業に人気の高い「とまり木PC」



図4 複合機、スキャナ、印刷専用端末

特定のOSでのみ動くアプリケーション、特定のブラウザでのみ閲覧できるウェブサイト(就職活動関係のサイトに多い)があるため、Mac・Windows両方の端末を設置している。教育用端末の設置された教室で行われる講義の課題をラーニング・コモンズで行う学生は多いが、特定の教室でのみ利用できるアプリケーションが一部にあるため、各教室と同じ端末を数台ずつ設

置している。

電源・情報コンセント（認証ネットワークによりインターネット接続が可能）付の席は、ラーニング・commons発足当時は利用者が少なかったが、「マイパソコン」^{注1}、「中期貸マイパソコン」^{注2}、「ロッカーパソコン」^{注3}などの取り組みによりノートパソコンの利用者が増加し、現在は頻繁に利用されている。

教育用端末やロッカーパソコンから、複合機に印刷ジョブを送信することができる（設定すればマイパソコンなどからも可能）。USBメモリ内のファイルを手早く印刷したい人のために、印刷専用端末も用意されている。印刷物を綴じたり切り貼りしたりするための文房具も用意されている。

3. 情報機器に関わる支援体制

ラーニング・commonsには、利用者のサポート役として大学院生に「ラーニング・アドバイザー」として常駐してもらっている。授業におけるティーチング・アシスタントと同様、学生からの質問に答えるのが主な仕事である。^{(3) (4)}

よくある質問として

- ・コンピュータの基本的な使い方（電源の入れ方・ログインの方法）
- ・大学のメール画面（Active!mail）へのログインの方法、メール送受信の方法、携帯電話への転送設定方法
- ・ソフトウェアの使い方（Office、ブラウザに関することが多い）
- ・印刷方法など複合機の使い方
- ・ヘッドホンの音量調節の方法など、周辺機器について
- ・USBメモリの使い方（差込口・ファイルの開き方、取り外し）
- ・ノートパソコンを学内のネットワークに接続する方法

などが挙げられる。

上記の質問対応だけでなく、ラーニング・commonsの機器の不調・トラブルを情報基盤センターに報告する仕事もある。機器は情報基盤センターにて設置・管理しているが、少人数の教職員で大量の機器を常にきめ細かくフォローすることは難しい。常駐のラーニング・アドバイザーがラーニング・commonsと情報基盤センターとの橋渡し役を担い、快適な情報環境の提供を可能にする。学外からの見学者の方からも「プリンタ（コピー機）のそばに人がいるというのは大きい（紙詰まりを含めた機械トラブル、印刷のしかた、紙・トナーの補充などの面で、安心して使える環境である）」「有線・無線の認証ネットワークの利用についても、いつでも質問できる人がいるというのは良い」と、好評価を頂いている。

また、図書館入口付近の席に常駐していることから、図書館内・学内施設への道案内、図書・文献検索などに関する初歩的な案内、図書館内のトラブルに対する初動など、図書館業務への協力をすることもある。逆に、ラーニング・アドバイザーが不在・対応中の時に

図書館職員に情報機器の対応をしてもらうことも多い。ラーニング・アドバイザーは、まさに「学内の各部署が連携して運用すべき協働」を象徴する存在であると思われる。

お茶の水女子大学は「学ぶ意欲のあるすべての女性の真摯な夢の実現の場であること、21世紀の社会が必要とする高度な教養と専門性を備えた女性リーダーを育成すること」を大学の目標として掲げている。繰り返しになるが、本学のラーニング・commonsは、知識や技術の専門化・多様化と社会のグローバル化が進む21世紀に対応できる人材を育てる「文理融合21世紀リベラルアーツ」の象徴的存在である。さらに「リベラルアーツ」の基盤の上に、創造性と実践性を備えた専門基礎力を持つ女性の育成を謳った「学生主体の新しい学士課程の創成」プロジェクトが発足、基礎と専門の知識を連携させることを目指して2011年度から「複数プログラム選択型専門教育」が導入された。ラーニング・アドバイザーはこの「学生主体の新しい学士課程の創成」プロジェクトからの支援により運営されている。2012年6月現在、文系理系専攻問わずM1からD3まで17名のラーニング・アドバイザーが在職しており、交代でその任に当たっている。



図5 ラーニング・アドバイザー（左）と質問をする利用者（右）

4. 現在の取り組み

タブレット型コンピュータを用いた下記の取り組みを試行中、または予定している。

- ・電光掲示板（スライドショー機能を利用）
→情報の逐次更新
- ・電子マニュアル（PDFファイルを開覧。検索も可能）
→情報の逐次更新、
ラーニング・アドバイザーの利便性向上
- ・動画通話
→エラーメッセージや機器の状態を動画付で
情報基盤センターに送信
→早期のトラブル解決
- ・機器管理（予定）
→ラーニング・アドバイザーが定期的に機器の
状態を確認し一覧にして情報基盤センターに送信
→早期のトラブル解決

本取り組みは「e-コンシェルジュ」と呼ばれる予定である。



図6 電光掲示板

図7 電子マニュアルを検索する
ラーニング・アドバイザー

5. おわりに

利用者の増加、および個々の利用者の利用時間の増加に伴い、時期（学期始め・終わりなど）や、時間帯（昼休み・夕方など）によっては機器が足りないほど混雑する場合があります。2011年度末の複合機1台の移設、ロッカーパソコン用ロッカー1台の増設（ノートパソコンは34台の増設）など、混雑緩和にむけて取り組みを行っている。

注

- 1 学部1年生に「マイパソコン」を持つことを推奨：設定されたパソコンをただ利用するのではなく、学生本人が管理者としてパソコンを持ち、各種設定を行い、活用するスキルを身につけることを目標とする。「パソコン活用室」にて開催される講習会では、マイパソコンの主体的な活用を支援する。事情によりマイパソコンを用意できない場合は、貸与プログラムも用意している。
- 2 学部2年生以上・大学院生向けに「中期貸マイパソコン」を用意：パソコンを管理するための基礎的な知識を既に会得した上級生を想定。OS やウイルス対策ソフトのアップデートなどを含めた管理は、学生自身が行う。半年単位の貸出（延長可能）。パソコンは情報基盤センターが用意している。⁽⁵⁾
- 3 附属図書館に「ロッカーパソコン」を設置：学生証（ICカード）で自動貸出・返却のできるロッカーを用意。図書館内で自由に利用ができ、帰宅時にロッカーに返却する。パソコンの設定は変更できない（管理ソフトがインストールされており、パソコンを再起動すると保存されたファイルや施した設定の変更などが全て削除されるようになっている）。パソコンは情報基盤センターが管理している。⁽⁵⁾

図8a ロッカーパソコン
(読み取り部に学生証をかざす)図8b ロッカーパソコン
(パソコンを借り受ける)

参考文献

- (1) JapanKnowledge :
<http://dic.yahoo.co.jp/newword?index=2010001709&ref=1>
- (2) 茂出木理子：“ラーニング・コモンズの可能性：魅力ある学習空間へのお茶の水女子大学のチャレンジ”，情報の科学と技術, 58, 2, pp.341-346 (2008).
- (3) 桑名杏奈：“情報共有を目的とした LMS (Moodle) 利用の一例”，高等教育と学生支援：お茶の水女子大学教育機構紀要, 1, pp.56-58 (2010).
- (4) 桑名杏奈, 池田佳奈子：“ラーニング・コモンズにおける学生支援”，高等教育と学生支援：お茶の水女子大学教育機構紀要, 2, pp.77-80 (2011).
- (5) 笹倉理子, 浅本紀子：“学生生活の支援としての PC 貸出サービス”，2012 PC Conference

参考ウェブサイト

- ・ 21 世紀型文理融合リベラルアーツ：
<http://www.ocha.ac.jp/la/>
- ・ 学生主体の新しい学士課程の創成：
<http://www.ocha.ac.jp/nsep/home/>
- ・ お茶の水女子大学図書館：
<http://www.lib.ocha.ac.jp>
- ・ 情報基盤センター：
<http://www.cc.ocha.ac.jp>
- ・ パソコン活用室：
<http://www.cf.ocha.ac.jp/panda/>